

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公表番号】特表2014-501568(P2014-501568A)

【公表日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2013-540192(P2013-540192)

【国際特許分類】

A 4 7 C 3/18 (2006.01)

【F I】

A 4 7 C 3/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

取付け面および基部に連結された抵抗動作支持機構であって、前記取付け面が前記基部に対して回転動作および傾動動作の一方または両方を行なう際に抵抗支持力を前記取付け面に付与するための動作支持機構であって、

前記取付け面の前記基部に対する傾動動作および回転動作の一方または両方を可能にするとともに、前記取付け面および前記基部に連結された支持軸受と、

前記基部の一部に作動的に取り付けられたピボット球と、

前記取付け面に固定して連結された抵抗カートリッジであって、前記取付け面が回転動作および傾動動作の一方または両方を行なう際に、前記抵抗カートリッジが前記基部に対して相対的に移動し、かつ、抵抗力を前記基部に印加する前記抵抗カートリッジとを備え、

前記抵抗カートリッジが、

カートリッジハウジングと、

前記ピボット球および前記ハウジングの壁に接触する弾性部材であって、前記弾性部材が、前記抵抗カートリッジと前記ピボット球との間の相対移動によって圧縮されて、抵抗支持力を前記取付け面に付与する弾性部材とを備える動作支持機構。

【請求項 2】

前記抵抗カートリッジを、前記取付け面が前記基部に対して相対的に移動した位置でロックするための手段をさらに備える請求項 1 に記載の機構。

【請求項 3】

座席、基部、ならびに前記基部および前記座席に連結された動作支持機構を有する椅子であって、前記座席が前記基部に対する回転動作および傾動動作の一方または両方を行なう際に、前記動作支持機構が、抵抗支持力を前記座席に付与し、前記動作支持機構が、

前記座席の前記基部に対する傾動動作および回転動作の一方または両方を可能にする、前記座席および前記基部に連結された支持軸受と、

前記基部の一部に固定して取り付けられるサイズのピボット球と、

前記座席に固定して連結された抵抗カートリッジであって、前記座席が回転動作および傾動動作の一方または両方を行なう際に、前記抵抗カートリッジが前記基部に対して相対的に移動し、かつ、抵抗力を前記基部に印加する前記抵抗カートリッジとを備え、

前記抵抗カートリッジが、

カートリッジのハウジングと、

前記ピボット球および前記ハウジングの壁に接触する弾性部材であって、前記弾性部材が、前記抵抗カートリッジと前記ピボット球との間の相対移動によって圧縮されて、抵抗支持力を前記座席に付与する前記弾性部材とを備える椅子。